



# 学校だより 学校評価号

☎ : 075-231-0959 E-mail:kyogoku-s@edu.city.kyoto.jp

平成30年3月14日  
京都市立京極小学校  
校長 谷山 典子

## ■平成29年度後期 学校評価について■

先月の2月初旬に、平成29年度後期の学校評価アンケートを実施しました。保護者の皆様にはお忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。(保護者アンケート回収率85%)

アンケートの各質問には、4つの選択肢で回答していただきました。

A

よくできている

B

おおむねできている

C

あまりできていない

D

できていない

今回の児童・保護者アンケート結果と、平成29年度前期の結果を全体的に比較してみると、各質問項目とも多少の数値の増減はありました、大きな変化はありませんでした。以下に、児童アンケートと保護者アンケートの結果の詳細と、成果や課題、考察をお知らせいたします。

なお、教職員全体結果については、紙面の都合上割愛しました。(教職員全体結果は、学校ホームページにて掲載しています。)

## ■京極小学校の取組■

本校では、『進んで学び、今をたくましく生きる子』という学校教育目標のもと、3つの目指す学校像「楽しい学校」「美しい学校」「高め合える学校」の実現へ向け、保護者や地域の皆様の協力を得て、教職員一丸となり一年間取組を進めています。年度末に向け、全教職員が児童一人ひとりにしっかりと寄り添い、前期の学校評価の結果を受け、日々の取組を進めています。

## ■「3つの目指す学校像」の実現に向けて■

「学校に来るのが楽しいか」について、前期に比べ3ポイント増加の95%の児童が、「楽しい」「おおむね楽しい」というA・B評価をしています。

また、同じ質問に95%の保護者もA・B評価をしていることは、学習の場ではもちろん、生活の場でも規範意識や、他者との関わりを大切にした教育や指導を継続的に行っていることが自己肯定感や自己有用感につながり、それが成果となって表れているのではないかと考えています。

一方、ポイントは減少しましたが、児童の6%が依然、「あまり楽しくない」「楽しくない」とC・D評価をしています。全ての児童が日々の学習や学校生活の中で、達成感や自尊感情を高められるような授業づくりや学校づくりを推進しています。

「高め合える学校」としては、来年度より教科化される道徳科を中心に取組の推進を図っています。具体的には、生命を大切にする心・他人を思いやる心・善惡の判断などの規範意識を大切にできるように、学校教育活動全体を通じた道徳教育を推進し、授業改善に取り組んできました。



また、問題解決的な学習や体験的な学習なども取り入れ「考え、議論する」道徳教育を目指し、「何を知っているか」だけでなく「知っていることを使ってどのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」の資質・能力にまで引き上げることを目指しています。

「美しい学校」の実現へ向けては、教育環境の整備を積極的に行ってています。校門前の池や庭は、保護者や地域の皆様方の協力による古紙回収の収益金によって整備していただきました。自然に親しみ、大切にする心を学校全体で育んでいきたいと考えています。

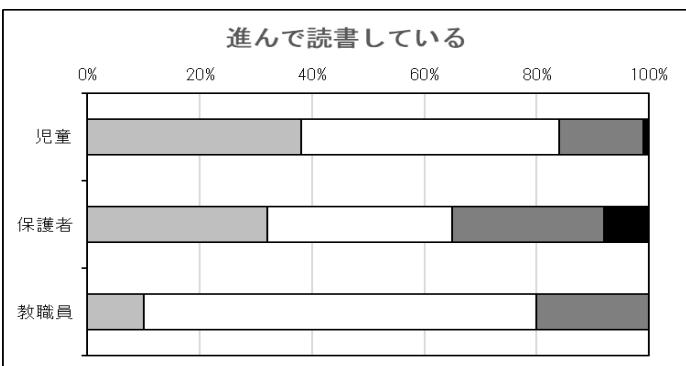
校舎内の掲示板も積極的に活用しました。本校研究科目の図画工作科を中心とした学習の足あとを掲示物で残すこと、授業の振り返りや学習への興味関心を高めたり、下学年の児童が学習の見通しがもてたりできるようになりました。

また、児童が取り組んだ作品のギャラリーや、仕組みを手に取って触れる事のできる「ものづくりヒントコーナー」の整備を行い、ものづくりへの興味関心を高め、豊かな感性を育むことを目指しました。

そして、給食室横の人権コーナーの掲示板には、人権タイムや集会、道徳の学習での児童の発言、考えや思いを掲示し、児童同士がそれを見合うことで「高め合える学校」への一助になりました。



## ■読書と学習の関係について■



次は、「子どもは進んで学習しているか」と「子どもは進んで読書をしているか」の質問についてです。

「進んで学習している」とA・B評価をしたのは、児童の83%，保護者の67%，教職員の80%です。

一方、「進んで読書している」とA・B評価をしたのは、児童の84%，保護者の65%，教職員の80%と、各質問ともよく似た傾向の評価をしており、「進んで読書をする児童」と「進んで学習する児童」の間には相関関係があると考えられます。

平成29年度の「全国学力・学習状況調査」の全市的な結果からも、読書と学力との相関関係が見られました。読書は学力の基盤となる語彙力・読解力の育成等に大きな影響を与えます。

本校で特に正答率が高かったものとして、「物語を読み、具体的な記述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる」という設問でした。

これは、本校で力を入れている、幅広いジャンルの本に触れられるような図書館環境の整備や、図書館司書と連携した国語の学習内容に合わせて児童に読んで欲しい本の紹介や、図書委員会と連携したイベント、かしの木さんによる週一回の朝の読み聞かせなど、子どもたちの読書への興味・関心を高められるような取組の成果であると考えています。このような取組は、来年度も継続していきたいと思っています。



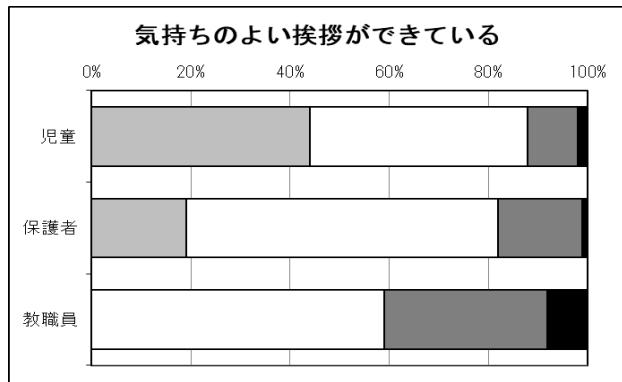
ご家庭では、読書をするよう声かけをしていただいているのでしょうか。読み聞かせや親子で地域の図書館の利用、毎月第1土曜日の親子読書の日の積極的な活用など、児童の読書活動の支援や読書環境づくりについて引き続きご協力をお願いいたします。

## ■挨拶について■

次に、「気持ちのよい挨拶ができているか」の質問についてです。

ここ数年と同じ傾向がみられ、A・B評価している割合は、児童の88%，保護者の82%でした。それに対して、教職員は、59%（A評価は0%）でした。

1月15日（月）に行われた上京・鳥丸中学校区2中4小の教職員が集まった挨拶運動では、計画委員も参加し、元気な挨拶がたくさん聞かれました。



しかし、普段は声が出なかつたり、挨拶を返せなかつたりする児童も少なくありません。「元気な声で」「相手を見て」「笑顔で」といった具体的な指導をしていくことで、気持ちのよい挨拶とはどのようなものか、また、挨拶とは社会生活で大切なコミュニケーションの基礎基本であることを日々伝えていきたいと思います。

ご家庭でも、挨拶の大切さについて話題にしたり、挨拶をすることへの働きかけをしたりしていただければ幸いです。基本的な生活習慣を含め、児童の健やかな育ちと学びの環境づくりに、引き続きご協力をお願いいたします。

## ■保護者・地域の皆様へ■



保護者アンケートでの自由記述欄で、学校行事の時期や在り方、通知票の記述等、たくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。来年度へ向け、さらに学校がより良く、児童が健やかに成長できるように願ってご意見いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、先日の学校運営協議会理事会において、学校評価の結果を報告したところ、「学校と家庭が連携し、挨拶を大切にできる児童がさらに増えてほしい。」というご意見や規範意識に関わること等、貴重なご意見をたくさん頂戴いたしました。

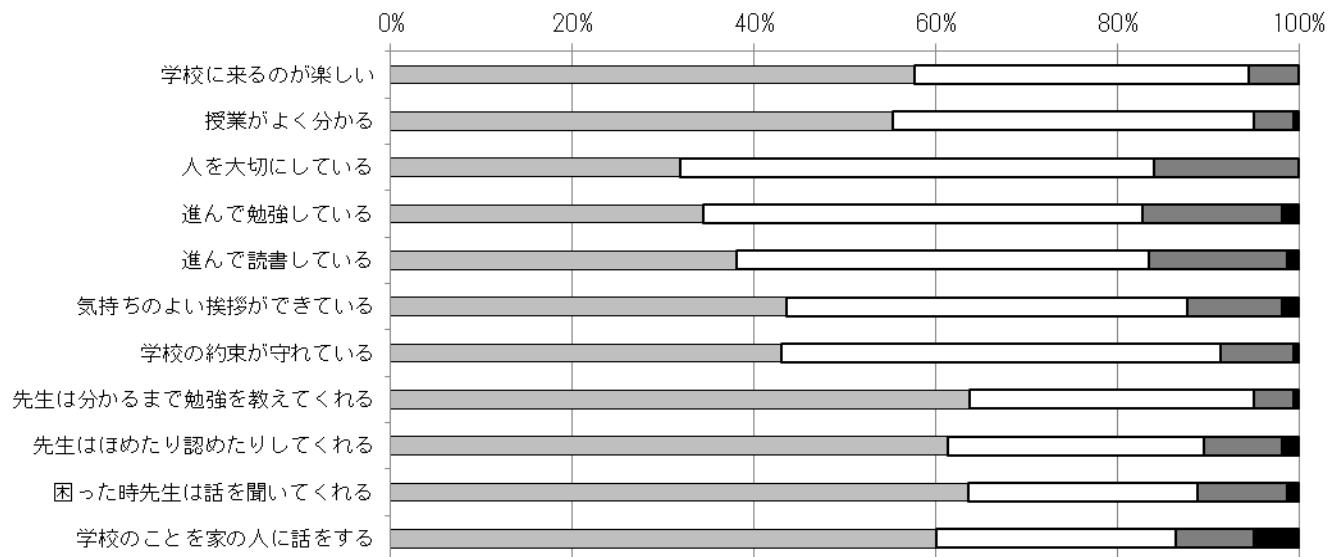
また、来年度より教科化される道徳科と、児童の学校生活や日常生活とのつながりについてのご質問やご意見をいただきました。学校だより3月号で、三学期制や新学習指導要領の全面実施についてお知らせしましたが、今後も、京極小学校が地域に根差した開かれた学校であるために、保護者や地域の皆様に学校教育活動についての、きめ細やかで丁寧な情報発信をしていきたいと考えています。

今回の後期学校評価アンケート結果を来年度の学校運営に反映できるよう、全教職員で課題や改善点の共有を図り、年間のまとめをし、京極教育活動の更なる充実と信頼性向上を図っていきたいと考えています。

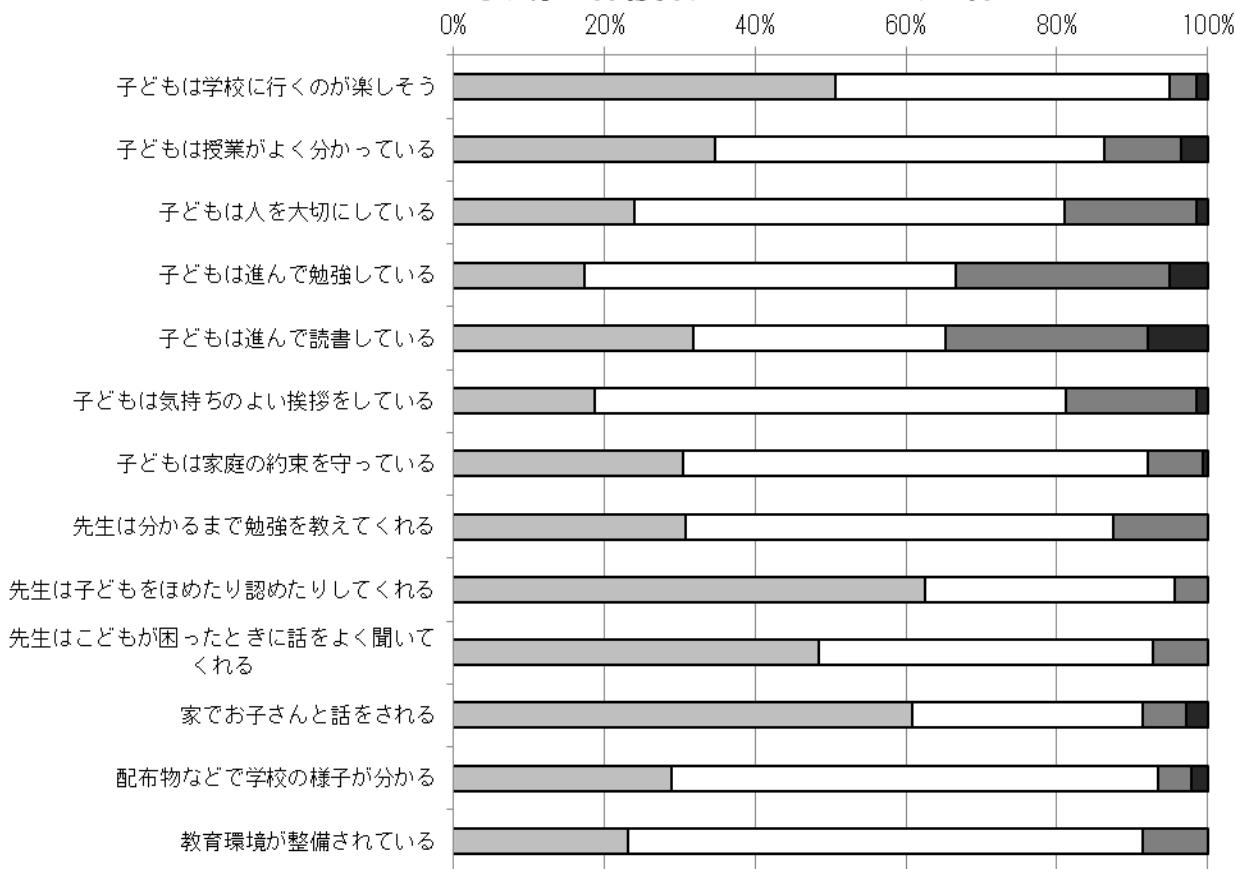
保護者の皆様から頂いた貴重なご意見は、児童が「京極小学校に通えて良かった。」と思える学校づくりに生かせるよう、教職員一丸となって日々の取組を進めていきます。また、お気づきの点等がございましたら、お気軽にご意見を学校までお寄せください。今後とも、学校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

## ■児童・保護者アンケート集計（全体）グラフ■

### H29後期 児童アンケート（全体）



### H29後期 保護者アンケート（全体）



子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で

**「子どもと共に育む京都市民憲章」を実践しましょう！**



京都はぐくみ憲章

(この頁は、学校ホームページのみ掲載しています。)

## H29後期 教職員アンケート

